

第1729回
**例会
プログラム**
2002・2/3 No.31



WEEKLY REPORT

友愛

次回2月14日の例会

1730回 12:30点鐘
東山荘

例会場：函南中央公民館

開会点鐘：11:30

ロータリーソング：奉仕の理想

内容：7クラブ合同例会

7クラブ全員

会員慶事

- ・会員誕生日
2月11日 深沢 昭三君
- ・皆出席
1月30日 橋本 喜市君(5年間)
- ・結婚記念日
2月7日 戸栗 太平君・久美子様ご夫妻
- ・夫人誕生日
2月8日 渡辺 巖君 ご夫人 洋子様
2月10日 勝又 誠君 ご夫人 通子様

会長挨拶

長田 吉弘

いよいよ第2分区のIMが今度の日曜日となりました。当クラブでは40数名の会員が出席してくださるとの事で大変有りがたく思っています。発表者の渡辺様には、宜しくお願い致します。

さて、昨今の経済状況をみますと、「何でも有り」の様相となってきました。私も建設業界で言うと、今迄競争相手であった旧財閥系の三井建設と住友建設の合併、青木建設に続き殖産住宅の倒産、また、地方においても大手と言われている建設会社が民事再生法を出したと新聞紙上を賑わしております。

この景気がどこまで続くのか、失業率の増加をみますと大変不安になります。

私は、今が通常の景気だと思ふことにして、今日に全力を尽くすことに力を注いでいます。

御殿場のロータリークラブの会員の皆様は、大変良い経営をなさっていると思い仲間として心強いかがりです。

ロータリー情報委員会

委員長 鈴木 崇司



今月はロータリー理解推進月間と言う難しい月間でございました。

本日は二人の方にお話していただく予定でしたが、急遽一人が都合悪くなったので、岩田英治さんにお話

をしていただきます。創立当時の厳しいお話をしていただきます。

昨年の4月に3年に一度の規定審議会がありました。大変な変化があります。今までやっていた物が改正され、あまりに急変するとどう言ったものか、考えさせられます。

これからロータリークラブがどの様になるのかなと思ひながら、私の話を終わります。これから、35周年の思い出と言うことで岩田英治さんをお願いいたします。

ロータリー理解推進月間に因んで

卓話者 岩田 英治



情報委員会に御殿場R.Cの創立前後の話をして下さいと依頼されまして、はて、先輩の芳磨先生は、オーストラリアで不在でいないし、創立会員では他に豊山譲君、穂坂君、菅沼君、そして私と5名となり、今日の卓話の順が廻って来た

第2620地区御殿場ロータリークラブ

例会日/木曜日 12:30 ~ 13:30

例会場・事務局/YMCA東山荘

電話/0550-83-1133 FAX/0550-83-1138

<http://www.gotemba-rc.gr.jp/>

静岡県御殿場市東山1052

会長/長田 吉弘 会報委員長/芹澤 正明

のかなーと.....35年の月日は、長いようで短く感じている次第で.....

前座はその位にして、クラブ誕生までの経緯から話を進めてみますと、沼津北クラブが発足して間もない頃に(S 35年(1960)5月12日、R I 承認が同年8月17日となっております。)御殿場にもR Cを創設してはどうかとガバナー事務所から要請があったが、時期尚早ということで見送られた。

昭和40年度(1965)の沼津北クラブへのガバナー公式訪問の際にも「如何ですか」程度の話が出て御殿場出身のロータリアンの肝を冷やしたものである。ところが翌昭和41年(1966)に白山ガバナーが就任されるに及んでその要請が強く打ち出され、それは一笑に附せる程度の生易しいものではなくなって来たのである。

御殿場は富士山麓にあることからその地名は広く海外にも知られていたのも、おそらく国際ロータリー事務局においても御殿場にロータリークラブがないことをむしろ不思議に思っていたのではないかと推察される。

当時御殿場在住のロータリアンというと、沼津クラブの橋本九市君と、沼津北クラブの小早川伝太郎君、鈴木栄蔵君、大庭健三君、それに私を加えての5名であった。そして、この5名が時々集まっては話し合っているうちに何時しか5名の胸の中には「この際、是非とも御殿場ロータリークラブを創らなければ」という使命感めいたものが芽生えていたわけである。然し、当時御殿場地区には既にライオンズクラブが出来ており、人口の少ない小都市だけに非常な困難がまず予想された。その上、当時のこの5名にはロータリーについて未知

の点が多く、しかも指導的な役割を演じなければならぬということでも多分に不安を感じたことは事実である。然し乍ら使命感は日増しにつのり、遂にはこれらの不安を燃え尽くしてしまうに及んで我々の決意は固まったのである。

まずメンバーの物色が始まった。毎晩のように橋本九市君宅に集合しては優秀な人達をチェックし、夫々担当を決めて家庭訪問しての説得が続いた。加えて小林完君や浅賀北クラブ会長の激励もあり、益々説得力がこもった。お蔭で次々と賛同が得られ、次第に機が熟して来たのである。そしてこの年の9月20日に行なわれた沼津及び沼津北の合同役員会の席上で、御殿場ロータリークラブ設立に踏み切ったことを公表した次第である。

東山荘の大和久所長の快諾を得て10月25日には例会場もY M C A 東山荘に決まり、愈々創立総会開催の準備にとりかかることになり、役員を選出を行ない、初代会長に橋本九市君、副会長・鈴木栄蔵君、幹事・大庭健三君の決定を見、この3君の他に小早川伝太郎君と橋本三男君が加えられた5名がキーメンバーに指名されたのである。

かくして昭和42年(1967)6月1日、東山荘齊藤記念館に小林特別代表、白山ガバナー、鈴木バスターガバナー、保志分区代理、沼津及び沼津北会長幹事をお招きして、当クラブ会員29名(篠原君は渡米中の為欠席)が出席して厳かにして晴れやかに創立総会が挙行され、ここに目出たく御殿場ロータリークラブが誕生したのである。

2月 御殿場RC例会プログラム				
月日	時間	会 場	内 容	担当及び卓話者
2/3 (1729回)	11:30	函南中央公民館	7クラブ 合同例会	7クラブ全員 (第2分区IM)
2/7 (2/3に振り替え)				
2/14 (1730回)	12:30	東山荘	世界理解月間 に因んで	国際奉仕(委員)
2/21 (1731回)	12:30	名鉄菜館	会員卓話 (鳩の話し)	橋本 喜市君
2/28 (1732回)	12:30	東山荘(講堂)	日韓よもやま話し	御殿場日韓友好交流会 会長 林 準君

1月31日のスマイル

- ・ 斉藤先生、大変お世話になりました。
石田 恩
- ・ FIFAワールドカップのキャンプにウルグアイが内定致しました。これからも
よろしくお願い致します。
勝又 敏雄・戸栗 太平

前回の出席報告

会員数	計算に用いる 会員数	出席数	暫定出席率	前々回の 確定出席率
63名	58名	48名	82.76%	100%
欠席者(10名)				
秋田悦夫君・藤田昇司君・林 準君・井口修一君 勝又 誠君・根上眞一君・大森清治君・小野寛幸君 菅沼 久君・渡辺 巖君				
メーキャップ(6名)				
・ 1月28日 沼 津 東 勝 又 洋君				
・ 1月29日 沼 津 北 大 森 清 治君				
・ 1月16日 長 泉 岡 本 隆 典君				
・ 1月23日 長 泉 鈴 木 栄 一君				
・ 1月30日 長 泉 高 村 繁 男君				
・ 1月25日 裾 野 田 代 博 久君				